

〔扶桑略記持統〕十一年八月一日甲子、天皇讓位輕皇子、武號太上天皇、生年五十歲、○又見一代要

運錄、皇代記、  
皇年代略記、

〔愚管抄持統〕位を東宮に譲り奉りて、太上天皇の尊號を奉り給、

〔神皇正統記持統〕此天皇、天下を治め給ふ事十年、位を太子武にゆづりて、太上天皇と申き、太上天皇といふ事は、異朝に漢の高祖の父を大公と云、尊號ありて太上天皇と號す、○中本朝にはむか

し其例なし、皇極天皇位をのがれ給ひしも、皇祖母の尊と申き、此天皇よりむ太上天皇の號は侍ける、

〔續日本紀文武〕大寶元年六月庚午、太上天皇統幸吉野離宮、

〔萬葉集一〕大寶元年辛丑秋九月、太上天皇統幸于紀伊國、○下

〔續日本紀文武〕大寶二年十月甲辰、太上天皇統幸于參河國、

〔萬葉集一〕二年○大壬寅、太上天皇統幸參河國、○下

○按ズルニ、皇祖母尊ノ稱ハ、是ヨリ先キ皇極天皇ノ朝ニ、御母吉備女王ヲ尊ビテ、皇祖母命ト稱シ奉リシニ起ル、祖母ハ即チ母ヲ云フナリ、祖ノ字ヲ訓ジテオヤト爲ス、故ニ上古ニハ或ハ母ニ祖ノ字ヲ用キタリ、古事記ニ大穴牟遲神ノ母、刺國若比賣ヲ指シテ御祖神ト云ヒシガ如シ、サレバ是ハ神皇正統記ニ云ヘル如ク、太上天皇トハ異ナリ、太上天皇ノ稱ハ實ニ持統天皇ニ起レリ、サレドモ當時後帝ヨリ上リ給ヒシニハアラザルベシ、抑モ太上ノ稱ハ支那ニ在リテハ嬴秦ニ起リテ、始皇ガ其父莊襄王ヲ追尊シテ太上天皇ト爲シ、ヲ以テ權興トス、サレドモ是ハ歿後ノ事ナリ、其後漢ノ高祖ガ其父ヲ尊ビテ太上天皇ト爲シ、ハ、生存中ノ事ニハアレドモ帝位ニ昇リシモノニハアラズ、後涼ノ呂光ガ天王ト爲リ、子ヲ立テ、位ヲ紹ガシメ、自ラ太上天皇ト稱セシガ如キハ自稱ナリ、唐書ニ太宗ノ父、高祖ノ事ヲ舉ゲテ、太上天皇徙居大安宮ト